

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	効率的な電気の使い方を考えよう
学年	小学校第6学年
目標	電気を効率的に使うためのプログラムをつくることを通して、コンピュータを活用して主体的に問題解決しようとする態度を養う。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	プログル理科電気キット
環境	児童35人で35台の端末を使用
都道府県	東京都
実施校	小平市立小平第十一小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p><学習活動の概要> 10時間分の9時間目</p> <ol style="list-style-type: none">①前時までの学習を振り返る。②本時のめあてを提示する。 「電気を効率よく使うためのプログラムを考えることができる。」③学習の見通しをもつ。④ビジュアルプログラミング言語の画面を開き、基本的な操作方法を知る。⑤ビジュアルプログラミング言語を使って、「暗くなると照明がつく。」プログラムを考える。⑥ビジュアルプログラミング言語を使って、「暗くなって人がいるときだけ照明がつく。」プログラムを考える。⑦電気を効率よく使うためのオリジナルのプログラムを考える。⑧学んだことを振り返る。 <p><児童の様子></p> <ul style="list-style-type: none">・基本的な操作を学んだ児童は、最初は、「ずっと」ブロックを使って、基本的な操作を行ってきたが、使い方に慣れた後半では、「もし～なら☆☆、でなければ△△」ブロックを使う児童が増えてきた。・少人数でのグループ活動を行ったため、話し合い活動が活発に行われ、一人一人が試行錯誤しながら、学習を進めた。
成果と課題	<p><成果></p> <p>一人1台の教材を使い、一人一人が試行錯誤を十分に行いながら、学習することができ、プログラミング的思考を身に付けることができた。</p> <p><課題></p> <p>教員がプログラミング教育についてさらに理解を深め、様々な教育活動の中で、プログラミング的思考を育むための学習を広げる必要がある。</p>